
[それゆけ!!仮面ソイヤー]

メガネ島

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「それゆけ！！仮面ソイヤー」

【Z-コード】

N6321A

【作者名】

メガネ島

【あらすじ】

超勘違いヒーローのいつもの一日

(前書き)

この作品は私の初めて書いたものなので暖かい日で「ご覧ください」。

私の名前は仮面ソイヤー、いつもは普通の学生だ。しかし、一度人々の助けの声が聞こえたならば、私は相棒の仮面オンドリヤーと共に颯爽と悪の前…以下省略 今日はそんな私の一日を教えてみる。

『仮面ソイヤーの正義とこの世の日々』

ソイヤー

「いやー今日は凄すげーいいの晴れだな。お前もやつぱりオンドリヤー

オンドリヤー
「…」

ソイヤー

「どうした? そんな世界で一番の馬鹿を見ているような冷たい目をして」

オンドリヤー

「何でそんなに余裕なんだい? 兄さん

ソイヤー

「違う!!! 私の名前は仮面ソイヤーだ。私はお前の相棒で兄さんなどでは断じて無い。」

オンドリヤー

「そんなことよつも…」

ソイヤー

「そんなことは何だ！！私は誇りある正義のヒーロー仮面ソイヤーだ！」

オンドリヤー

「とりあえずその事に対しは謝るよソイヤー（どうして同じ環境で育ったのに、兄さんだけこんな変態馬鹿になつたんだろう）。でも何で僕まで変身した状態で登校しなくちゃいけないのかな？」

ソイヤー

「そんな事か。いいかオンドリヤー、我々は正義の味方なんだ。いついかなる時でも、助けを呼ぶ声があるときには駆けつけなければならぬ。だからこそどんな時でもすぐに駆けつけるようにしていなけばならないんだ（力説）」

オンドリヤー

「だからって何も人としての恥辱心や尊厳を捨てるほど、人助けをしているわけではないけどね」

ソイヤー

「何を言ひ、この前銀行強盗の犯人を捕まえたではないか。」

オンドリヤー

「そうだつたけかな。確かに捕まえたと言つより銀行ごとソイヤーの必殺技の『うなれ！！ハッキングした衛星からのレーザー光線×10つ・い・で・に米軍基地からのミサイル攻撃』のせいで半径1kmが半壊して、犯人だけが生き残つただけ気がするんだけど」

ソイヤー

「他にもいっぱい人助けをしてきたではないか」

オンドリヤー

「それは正義党言つたのテ口行為だと思つよ、兄さん」

(後書き)

あまり自信が無いので、改善するべき所はお教えください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6321a/>

[それゆけ!!仮面ソイヤー]

2010年11月24日15時42分発行